

1 教職員研修について

南宇和支部では、各校の情報教育主任を中心に情報教育委員会を構成し、「情報社会に主体的に生きる力を育む教育の研究と実践 - 教育の情報化の推進を通して -」を主題に、研修を実施した。

(1) 郡情報教育委員会

- ① 日時 平成 24 年 4 月 24 日（火）13:00～16:15
- ② 場所 愛南町立城辺中学校
- ③ 内容
 - ア 役員の選出
 - イ 本年度の研究主題の決定
 - ウ 研究計画の決定 夏季休業中に実技研修会及び情報交換会を開く。

(2) 情報教育実技研修会

- ① 日時 平成 24 年 8 月 23 日（木）13:30～16:00
- ② 場所 愛南町立城辺小学校 参加人数 18 名
- ③ 講師 東京書籍株式会社 ICT 事業本部営業部第二営業課 職員
- ④ 内容

- ア デジタル教科書を使った実技研修
- イ 質疑応答
- ウ 情報教育についての情報交換

⑤ 感想

各校の情報教育主任を主な対象として、デジタル教科書を使った実技研修会を行った。初めに、デジタル教科書を使用するメリットについて、以下のような説明があった。

- ・ 画面を教室正面に表示させることで、児童が授業に集中できる。
- ・ 写真を大きく見せたり、動画を提示したりできる。
- ・ 教科書エディタ機能を活用し、教科書の内容を編集することができる。
- ・ 付箋紙をつけて、教科書の一部を隠して提示することができる。
- ・ 写真を見て気付いたことを説明するとき、拡大表示してわかりやすくすることができる。

次に、参加者各自が実際にデジタル教科書を操作してみた。今回の研修では児童の立場でデジタル教科書を使用したり、指導者の立場で教材として活用するにはどう扱うかを考えたりすることができた。

2 今後の課題

今回の研修後、東京書籍のデジタル教科書の試用版を実際に授業で活用してみることで、その便利さ、分かりやすさをさらに実感することができた。しかし、デジタル教科書の様々なメリットを、実際の授業でどのように生かしていくかは、それぞれの指導者の技量にかかっているので、今後もさらに今回のような研修を行う必要があると思われる。南宇和郡は、情報教育機器の整備がかなり整っているので、デジタル教科書などを使用しやすい環境にある。デジタル教材の効率的な活用法を各校で考え、積極的に活用してもらおうよう呼びかけたい。

また、今年度から愛南町の公開フォルダを活用して、町内の先生方が作成した情報教育機器を活用する授業用教材の共有化を試みている。公開フォルダの中に教材を保存することにより、町内のどの学校の先生も使えるようにしている。まだまだ十分活用されているとは言えないが、町内の先生方に呼び掛け、充実したライブラリとなることを目指したい。